

自然教育園の歴史

自然教育園の生い立ちは、今から400～500年前の豪族の館からはじまります。江戸時代は、高松藩主松平頼重の下屋敷となり、明治時代は陸・海軍の火薬庫、大正時代には白金御料地と歴史をかさねてきました。この間は、一般の人々が立ち入ることができなかったため、この地に豊かな自然が残されました。昭和24年(1949年)に天然記念物および史跡に指定され、一般に公開されるようになりました。

自然教育園の学習支援活動

自然教育園では、自然に親しみ、自然をより深く理解していただけるよう、一般入園者・児童生徒・教員の方などを対象にさまざまな学習支援活動を実施しています。このほか、企画展示などを随時展示ホールで行っています。



ご利用案内

◆開園時間

5月1日～8月31日：9時～17時(入園は16時まで)
9月1日～4月30日：9時～16時30分(入園は16時まで)

◆休園日

- 毎週月曜日(ただし、祝日・休日の場合は開園し、火曜日が休園)
- 祝日の翌日(ただし、土・日の場合は開園)
- 年末年始(12月28日～翌年1月4日)

◆入園料：一般 320円

- 高校生以下、65才以上の方は無料です。年齢の分かる証明書などを提示してください。
- 障害者の方とその介助者1名は無料です。障害者手帳などを提示してください。
- 幼児だけでは入園できません。

自然を保護するためのお願い

自然教育園は自然を保護するために一般の公園とは違い、入園者が同時に300名を超えないようにしています。このため、入園者が多い時はしばらくお待ちいただくことがあります。



後世に伝えていく大切な自然です。
ルールを守ってご利用ください。



水生植物園

- 交通
- JR山手線目黒駅東口及び東急目黒線目黒駅より目黒通り徒歩約9分
 - 東京メトロ南北線及び都営地下鉄三田線白金台駅1番出口より目黒通り徒歩約7分

国立科学博物館附属
自然教育園
(港区白金台)
〒108-0071
東京都港区白金台5-21-5
TEL.03-3441-7176
<http://www.ins.kahaku.go.jp>



国立科学博物館附属

自然教育園

天然記念物及び史跡(港区白金台)



国立科学博物館

武蔵野植物園

武蔵野の草原や雑木林が残り、ジロボウ・エンゴサク・アマナ・カタクリ・シュンラン・ヤマユリ・ツリガネニンジン・ヌスビトハギ・シラヤマギク・タイアザミなどの野草類が見られます。鳥のシジュウカラがよく見られます。



カタクリ



ヤマユリ



シジュウカラ

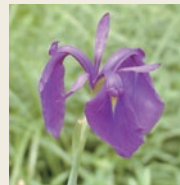


初夏の武蔵野植物園

水生植物園

池や湿地に生育するハンノキ・ノハナショウブ・ショウブ・ノカンゾウ・コバギボウシ・ミソハギ・ツリフネソウ・ヒメガマ・ヨシなど多くの植物が見られます。

また、メダカ・モツゴ・ヨシノボリなどの魚も生息し、カルガモやアオサギ・カワセミなどの鳥も見られます。



ノハナショウブ



ツリフネソウ



アオサギ



春の水生植物園



館跡付近の土塁



物語の松

園内のご案内

自然教育園では、武蔵野を代表する四季折々の植物が、それぞれの生育に適した場所で観察できます。あわせて、園内では滅びゆく種の保存も行っています。

ろぼう 路傍植物園

山野の道ばたに生育し、日なたと日かげを好む野草類が見られます。フクジュソウ・ニリンソウ・イチリンソウ・タチツボスミレ・ヤマブキノソウ・イカリソウ・エビネ・フタリスズカ・マンリョウ・ウバユリ・キチジョウソウ・ヤブレガサ・イスシヨウマなど多くの植物が見られます。



フクジュソウ



イヌシヨウマ



秋の路傍植物園



カラスアゲハ

教育管理棟

自然教育園の自然を紹介した各種展示や休憩スペースがあります。また、ミュージアムショップでは、関連書籍や教材などをご購入いただけます。